

経営戦略の令和元年度取組実績について

○水道事業

1 数値目標

| 項 目 | | 6年間(H28年度～R3年度)での目標 | R1年度までの実績 | 進捗状況等 | |
|------------|---|--------------------------------|-------------|------------------------------------|-----------------------------------|
| 経営指標等 | 経常収支比率 | 毎年度100%以上 | ※1 107.72% | 目標達成 | |
| | 給水原価 | 毎年度69円/㎡以下 | ※1 62.98円/㎡ | 目標達成 | |
| 安定供給の確保 | 地震防災対策 | 広域調整池の整備 ※2 (H28～R7 5池整備) | 100% | 80% | R7年度までの目標5池に対し、4池を整備した(計画どおり) |
| | | 連絡管等の整備 ※2 (H28～R7 3路線整備) | 66% | 33% | R7年度までの目標3路線に対し、1路線を整備した(概ね計画どおり) |
| | | 浄水場等の構造物の整備 ※2 (H28～R7 9浄水場整備) | 33% | 11% | R7年度までの目標9浄水場に対し、1浄水場を整備した(計画どおり) |
| | 老朽化設備更新の進捗率 ※2 (H28～R7 53設備整備) | 58% | 26% | R7年度までの目標53設備に対し、14設備を整備した(計画どおり) | |
| | 老朽化管路更新の進捗率 (H28～R7 35km整備) | 44% | 27% | R7年度までの目標35kmに対し、9.4kmを整備した(計画どおり) | |
| 安全で良質な水の供給 | 水質指標(残留塩素) | 毎年度1.5倍以下 | ※1 1.5倍 | 目標達成 | |
| | 水質指標(特定4項目) <small>(水の臭い等の原因となる物質濃度について、国の水質基準より厳しく設定した県独自の指標)</small> | 毎年度4項目達成 | ※1 3項目達成 | 目標4項目に対し、3項目目標値を達成した | |

※1 R1年度(単年度)実績

※2 目標及び実績の進捗率は、整備予定施設数に対する完了施設数の割合(整備中の進捗は計上していない。)

2 経営指標

| 項 目 | | R1年度実績 | H30年度実績 (H30年度類似団体平均) ※ |
|--------|---------------------------|----------|----------------------------|
| 経営の健全性 | 経常収支比率【単年度損益】 | 107.72% | 108.26% (112.98%) |
| | 累積欠損金比率【累積損失】 | — | — (10.49%) |
| | 流動比率【キャッシュフロー】 | 120.18% | 111.46% (258.49%) |
| | 企業債残高対給水収益比率【債務残高】 | 232.73% | 230.54% (290.31%) |
| 経営の効率性 | 料金回収率【料金水準の適切性】 | 107.58% | 108.06% (112.83%) |
| | 給水原価【費用の効率性】 | 62.98円/㎡ | 62.79円/㎡ (73.86円/㎡) |
| | 施設利用率【施設の効率性】 | 65.17% | 65.39% (61.77%) |
| | 有収率【供給した配水量の効率性】 | 99.62% | 99.66% (100.08%) |
| 老朽化の状況 | 有形固定資産減価償却率【施設全体の減価償却の状況】 | 59.02% | 58.77% (55.77%) |
| | 管路経年化率【管路の経年化の状況】 | 52.33% | 50.96% (25.84%) |
| | 管路更新率【管路の更新投資の実施状況】 | 0.34% | 0.33% (0.24%) |

※ 類似団体平均は、全国の上水道事業を行う団体のうち、用水供給事業を行う団体の平均

3 令和元年度の主な取組実績及び今後の取組

【主な取組実績】

- 地震防災対策の実施
 - ・豊橋広域調整池始め3池の整備(うち2池完了)
 - ・第2犬山幹線始め3路線の整備(うち1路線完了)
 - ・上野浄水場始め6浄水場の耐震化(うち1浄水場完了)
- 老朽化施設の更新
 - ・犬山浄水場機械設備始め22設備の更新(うち3設備完了)
 - ・西春線送水管始め7送水管の更新
- 安全で良質な水の供給
- PFI事業の着実な実施
 - ・全浄水場で排水処理施設整備・運営事業等を実施
- 水道技術職員の人材育成
 - ・水道技術育成プログラムに基づく研修の実施等
- 環境に配慮した事業の実施

【今後の取組】

- 地震防災対策(広域調整池、連絡管、浄水場等の構造物)の実施
- 老朽化施設(浄水場設備、管路)の更新
- 安全で良質な水の供給
- PFI事業の着実な実施
- 水道技術職員の人材育成
- 環境に配慮した事業の実施

○工業用水道事業

1 数値目標

| 項 目 | | 6年間(H28年度～R3年度)での目標 | R1年度までの実績 | 進捗状況等 | |
|------------|----------------|--------------------------------------|-------------|-------|--|
| 経営指標等 | 経常収支比率 | 毎年度100%以上 | ※1 118.47% | 目標達成 | |
| | 給水原価 | 毎年度28円/㎡以下 | ※1 24.87円/㎡ | 目標達成 | |
| ※2 安定供給の確保 | 地震防災対策 | 愛知用水 (H28～R6 8橋整備) | 75% | 63% | R6年度までの目標8橋に対し、5橋を整備した(計画どおり) |
| | | 西三河 (H28～R7 12橋整備) | 92% | 92% | R7年度までの目標12橋に対し、11橋を整備した(計画どおり) |
| | | 東三河 (H28～H29 5橋整備) | 100% | 100% | H29年度までの目標5橋に対し、5橋を整備した(目標達成) |
| | | 尾張 (H28～R4 10橋整備) | 90% | 80% | R4年度までの目標10橋に対し、8橋を整備した(計画どおり) |
| | 老朽化施設更新 | 愛知用水 (H28～R7 13設備整備) | 62% | 31% | R7年度までの目標13設備に対し、4設備を整備した(計画どおり) |
| | | 西三河 (H28～R4 6路線整備) (H30～R7 7設備整備) | 69% | 31% | R7年度までの目標6路線及び7設備に対し、2路線・2設備を整備した(概ね計画どおり) |
| | | 東三河 (H28～R7 10設備整備) | 50% | 40% | R7年度までの目標10設備に対し、4設備を整備した(計画どおり) |
| | 老朽管路更新 | 尾張 (H28～R7 13設備整備) | 85% | 77% | R7年度までの目標13設備に対し、10設備を整備した(計画どおり) |
| | | 愛知用水 (H28～R7 5路線整備) | 20% | 0% | R7年度までの目標5路線に対し、1路線を整備中(計画どおり) |
| | | 西三河 (R5以降整備予定) | | | |
| | 東三河 (R3以降整備予定) | | | | |
| | 尾張 (R6以降整備予定) | | | | |

※1 R1年度(単年度)実績

※2 「安定供給の確保」の目標及び実績の進捗率は、整備予定施設数に対する完了施設数の割合(整備中の進捗は計上していない。)

2 経営指標

| 項 目 | | R1 年度実績 | H30 年度実績 (H30 年度類似団体平均) ※ |
|----------------|---------------------------|-----------|------------------------------|
| 経営 の健 全性 | 経常収支比率【単年度損益】 | 118.47% | 117.49% (120.32%) |
| | 累積欠損金比率【累積損失】 | — | — (17.88%) |
| | 流動比率【キャッシュフロー】 | 125.48% | 126.83% (394.58%) |
| | 企業債残高対給水収益比率【債務残高】 | 249.10% | 252.06% (235.79%) |
| 経営 の効 率性 | 料金回収率【料金水準の適切性】 | 116.78% | 115.54% (117.72%) |
| | 給水原価【費用の効率性】 | 24.87 円/㎡ | 25.14 円/㎡ (17.03 円/㎡) |
| | 施設利用率【施設の効率性】 | 61.95% | 62.50% (58.56%) |
| | 有収率【供給した配水量の効率性】 | 98.67% | 98.59% (97.49%) |
| 老朽 化の 状況 | 有形固定資産減価償却率【施設全体の減価償却の状況】 | 67.37% | 67.10% (59.48%) |
| | 管路経年化率【管路の経年化の状況】 | 33.16% | 30.89% (48.09%) |
| | 管路更新率【管路の更新投資の実施状況】 | 0.08% | 0.04% (0.13%) |

※ 類似団体平均は、全国の工業用水道事業を行う団体のうち、配水能力規模が200,000m³/日以上以上の団体の平均

3 令和元年度の主な取組実績及び今後の取組

【主な取組実績】

- 地震防災対策の実施
 - ・境川水管橋始め6橋の耐震化（うち5橋完了）
- 老朽化施設の更新
 - ・安城浄水場機械設備始め10施設の更新（うち4施設完了）
 - ・高浜線配水管始め5配水管の更新（うち1配水管完了）
- P F I 事業の着実な実施
 - ・全浄水場で排水処理施設整備・運営事業等を実施
- 水道技術職員の人材育成
 - ・水道技術育成プログラムに基づく研修の実施等
- 環境に配慮した事業の実施

【今後の取組】

- 地震防災対策（水管橋）の実施
- 老朽化施設（浄水場設備、管路）の更新
- P F I 事業の着実な実施
- 水道技術職員の人材育成
- 環境に配慮した事業の実施

○用地造成事業

1 数値目標の実績

| 項 目 | | 10 年間（H28 年度～R7 年度） での目標 | | R1 年度までの 実績 | 進捗状況等 |
|----------------------|------------|-----------------------------|-------------|----------------|---|
| 経営 指標 | 経常収支 比率 | 毎年度 100%以上 | | ※ 105.09% | 目標達成 |
| 分譲、 リー ス面 積 | 内陸用地 | H28 年度～R2 年度 | R3 年度～R7 年度 | 453.6 h a | 豊橋三弥地区始め7地区において 用地を分譲（概ね計画どおり） |
| | | 700 h a | 100 h a | | |
| | 臨海用地 | H28 年度～R2 年度 | R3 年度～R7 年度 | 74.7 h a | 御津1区始め8地区において用地 を分譲・リース（目標達成） |
| | | 30 h a | 30 h a | | |
| 造成 完了 面積 | 内陸地区 | H28 年度～R2 年度 | R3 年度～R7 年度 | 478.6 h a | 豊田・岡崎地区始め5地区におい てR2年度までの目標750haに対 し、63.8%の用地を造成した |
| | | 750 h a | 160 h a | | |
| | 臨海地区 | H28 年度～R2 年度 | R3 年度～R7 年度 | 40.9 h a | 御津2区始め3地区においてR2 年度までの目標60haに対し、 68.2%の用地を造成した |
| | | 60 h a | 40 h a | | |

※ R1 年度（単年度）実績

2 経営指標

| 項 目 | | R1 年度実績 | H30 年度実績 (H30 年度全国平均) ※ |
|----------------|----------------|---------|----------------------------|
| 経営 の健 全性 | 経常収支比率【単年度損益】 | 105.09% | 125.30% (107.14%) |
| | 流動比率【キャッシュフロー】 | 432.24% | 148.93% (457.78%) |

※ 全国平均は、宅地造成事業を行う全国の公営企業の平均

3 令和元年度の主な取組実績及び今後の取組

【主な取組実績】

- 分譲用地の販売促進
 - ・岩倉川井野寄地区において、先行契約方式による企業募集手続きを開始
 - ・豊橋三弥地区及び刈谷依佐美地区の分譲を開始
 - ・稲沢三宅（2期）地区において売買契約を締結し、完売
 - ・中部臨空都市への企業誘致
- 用地造成の推進
 - ・西尾次世代産業地区において、造成工事を着手
 - ・知多大興寺（2期）地区の新規事業化
- 豊田・岡崎地区研究開発施設用地造成事業の推進
 - ・東工区1期引渡しエリアを売却
 - ・東工区2期、西工区の造成を推進

【今後の取組】

- 次世代産業関連企業、航空宇宙産業を中心とした企業訪問の実施
- 中部臨空都市への企業誘致（国際展示場やイオンモール常滑との相乗効果が期待できる施設等）
- 企業ニーズを的確に把握し、採算性を確保した新規開発の実施
- 事業量に応じた適正な組織体制の構築